

# 会 議 録

## 1 会議名

令和3年度 第2回大潟区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ・協議事項（公開）

令和3年度地域活動支援事業（大潟区）提案事業について（プレゼンテーション）

### ・その他（公開）

## 3 開催日時

令和3年6月3日（木）午後6時から午後8時15分まで

## 4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

## 5 傍聴人の数

7人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐郁代、五十嵐公子、金澤信夫、君波豊（会長）、佐藤忠治（副会長）  
新保輝松、土屋郁夫、中野幹根、濁川清夏、俵木一松、俵木晴之、細井雅明、山岸敏幸（14名中13名出席）
- ・事務局：大潟区総合事務所 熊木所長、柳澤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、平野市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長、岩片班長、水澤主任（以下グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【柳澤次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【君波豊会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：五十嵐郁代委員に依頼

【君波豊会長】

それでは、令和3年度大潟区地域活動支援事業大潟区提案事業のプレゼンテーションに入る。プレゼンテーションの方法について事務局から説明をしてもらう。

【柳澤次長】

資料No.1により説明。

【岩片班長】

審査用紙等について説明。

【君波豊会長】

プレゼンテーションを始める。提案事業No. 1「大潟の子どもを育てる会」から提案された「子ども体験事業」についてプレゼンテーションをお願いする。

【大潟の子どもを育てる会】

プレゼンテーションを実施。

【君波豊会長】

質疑を求める。

【五十嵐郁代委員】

講師を依頼するのが11団体とのことである。今後も同事業の継続を考えておられるが、依頼を10団体とか20団体でなく、11団体とした理由があるのであればお聞きしたい。

【大潟の子どもを育てる会】

時間と会場の関係が一番である。また、講師を依頼する団体の都合もあり、11団体となった。過去には、13団体に依頼した年もあった。その時は、午前、午後と実施していたが、中だるみをしてしまう傾向にあったので、午前に集中して開催するようになった。

【君波豊会長】

他に質疑がなければ「子ども体験事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業No.2「九戸浜町内会」から提案された「九戸浜のお宝発掘事業第2

弾お宝パンフレット作成」のプレゼンテーションをお願いする。

【九戸浜町内会】

プレゼンテーションを実施。

【君波豊会長】

質疑を求める。

【細井雅明委員】

九戸浜町内会に全戸配布するとのことだが、他から見たいといった声があった場合はどうするのか。例えば、まちづくり大潟のホームページ等に掲載すれば誰でも見ることができるが。PDFの著作権は、九戸浜町内会が持っているということによいか。

【九戸浜町内会】

九戸浜町内会が持っている。

【金澤信夫委員】

今回の提案は第2弾ということだが、第1弾で作成した冊子を配布時に地域へアンケートや意見調査などを実施したか。

【九戸浜町内会】

アンケート等は取っていないが、配布時に「非常にわかりやすい。」という好評な意見を多く頂いた。「都会にいる兄弟や子どもに送りたい。冊子はもう無いのか。」という意見も多く、事業終了後に自主財源で増版した。そういった意味では、好評いただいている。町内会総会でも、「非常に良い取組みだった。新しく転入された方にも是非、無償で提供いただきたい。」という要望を頂いた。

【君波豊会長】

大潟町当時に、どんどの池には立派な看板があった。いつの間にか無くなったが、町内会は承知していたか。米山道の道標は、大事なものだが粗末にされているという印象であったが、今回整備されるということで安心している。また、「九戸浜の歩み」という本を読んだ。それも参考にしながらパンフレットを作成すると思うが、著者の思いを取り入れてほしいと思う。

【九戸浜町内会】

どんどの池の看板について、撤去された経緯は分からない。グーグルマップ等には、まだ看板が残っている。そのため、何が記載されているかは分かる。米山道道標には、

杭が作られた形跡がある。しかし、老朽化で書かれている文字が判読できないこともあり、何とか光を当てたいというのが今回の思いである。「九戸浜の歩み」は、第1弾の冊子を作成するときにも参考にさせていただいた。今回もそうであるが、今後いろいろなものを掘り起こしていく際には参考にしていきたいと考えている。

**【君波豊会長】**

以上で「九戸浜のお宝発掘事業第2弾お宝パンフレット作成」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.3 「潟町町内会」から提案された「旧米山道、奥州道道標碑修復事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【潟町町内会】**

プレゼンテーションを実施。

**【君波豊会長】**

質疑を求める。

**【佐藤忠治副会長】**

以前、潟町公民館で潟町宿の開宿何周年かの催しがあった。

**【潟町町内会】**

15年ほど前に開宿350周年の催しを行った。

**【佐藤忠治副会長】**

道標を契機に、潟町が潟町宿であったということを後世に伝えるため、案内板等の設置も検討していただきたい。

**【君波豊会長】**

以上で「旧米山道、奥州道道標碑修復事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.6 「郷土史友の会おおがた」から提案された『天保6年堀割御普請中日記帳』解説文の出版事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【郷土史友の会おおがた】**

プレゼンテーションを実施。

**【君波豊会長】**

質疑を求める。

(一同無し)

では、「『天保6年堀割御普請中日記帳』解説文の出版事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.6 「大潟町中学校PTA」から提案された「生徒と地域をつなぐ活動の周知事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【大潟町中学校PTA】**

プレゼンテーションを実施。

**【君波豊会長】**

質疑を求める。

(一同無し)

私から要望がある。小学校は、かなり細かい情報が我々にも届くが、地域の子ども会等は中学生を対象にしていないのではないか。先ほど中学校の頑張り遠足の話があった。例年、地域で横断幕等を作成しエールを送っていたが、今回は開催の情報が入らなかった。もう少し、中学生も地域の皆さんと親しくするという雰囲気作りをしていただきたい。それによって、提案内容も生きてくるのではないか。大潟の子どもを育てる会では、あいさつ運動を大きなテーマとして取り上げている。しかし、中学生になるとあいさつをしたがらないのが実態である。PTAでも、地域の中での挨拶を指導したり、あいさつ運動に取り組んでいただくよう配慮を願う。

**【山岸敏幸委員】**

「事業の目的及び期待する効果」欄に、「大潟町中学校PTAの活動の中で、子どもたちと地域をつなぐ活動を広く区内に周知し、ともに汗を流したり教養を深めることによって、生徒が日ごろから地域の中で育てていただいていることを知ったり、世代間交流の場となることを期待する。」とあるが、実際、子どもたちに「おはよう。おかえり。」と声をかけても知らん顔をしている。今回の提案は、リース料ありきなのではないか。私は、実際に効果として表れていないと判断するが、その辺どうなのか。

**【大潟町中学校PTA】**

PTAとしては、あいさつに関する取り組みはしていない。今回、「がんばり遠足で沿道の方々にあいさつをして回ろう。」という声が生徒たちから出て、実際に取り組んだ。学校の中で、普段のあいさつ活動は生活委員会が実行している。PTAから、生活委員会や生徒会へ働きかけるルートはこれまではなかった。学校の職員経由で生徒に指導し

ていくことは可能であると考えます。職員もPTAの一員であり、今頂いた声もしっかり受け止め、これからの体育祭やジムリーナでの取り組みのほか、どんなものが盛り込んでいけるかを検討し、また、学校の教育活動の中に盛り込んでもらうようお願いをしたいと思う。

**【山岸敏幸委員】**

PTAなので、保護者と教職員である。家庭教育も成っていないのではないかと。広報紙等をカラー印刷したから、それが可能かどうかというのとは違うと思う。その辺はどうか。モノクロ印刷でもそれらはできる。

**【大潟町中学校PTA】**

あいさつに関してか。

**【山岸敏幸委員】**

あいさつもそうである。期待する効果の「地域の中で育てていただいている。」といっても育てられない。声をかけても知らん顔をしている。どうやって育てるのか。保護者も頑張らなければならない。

**【大潟町中学校PTA】**

家庭で子どもたちをどう育てていくかというところで、「元気アップ大潟」の取組とは別に、これを利用して、家庭にあいさつを呼びかけるプロジェクトを立ち上げていかなければならないと考える。小学生、中学生、高校生までを網羅する活動で考えているので、保護者、教職員で考えていきたい。以前は、バザーやそれぞれの地域の育成会の中でのボランティア活動など、地区にPTAとして根付くような活動があった。昨年からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できていない。しかし、今は我慢であるが、新型コロナウイルスが治まった時に再開できるよう、少しでも繋いでいこうということが今年目標になっている。また、印刷機は地域での活用が増えてきている。まちづくり大潟の印刷機と併用している雰囲気がある。

**【君波豊会長】**

これで「生徒と地域をつなぐ活動の周知事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.4 「まちづくり大潟」から提案された「大潟区の魅力PR事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【まちづくり大潟】**

プレゼンテーションを実施。

**【君波豊会長】**

質疑を求める。

**【土屋郁夫委員】**

設置した時、設置した後などに、オープニングであるとか、マスコミにPRするとかを考えているか。

**【まちづくり大潟】**

実施できるかどうかは分からないが、設置については新聞社等に情報発信する必要があると思う。オープニングに関しては検討させていただく。

**【君波豊会長】**

他に質疑がなければ「大潟区の魅力PR事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.5、同じく「まちづくり大潟」から提案された「大潟区散策ルート作成事業」のプレゼンテーションをお願いする。

**【まちづくり大潟】**

プレゼンテーションを実施。

**【君波豊会長】**

質疑を求める。

(一同無し)

では、私からお聞きする。駅前に設置する大きな看板について、寸法が出ているがどのようなイメージなのか、もう一度お聞きしたい。また、各所に設置する案内版のイメージが湧かない。

**【まちづくり大潟】**

資料にあるのはざっくりとしたイメージである。大きい看板であるので、もう少し細かい説明が入れられると思う。これから、専門家の方の意見を頂きながら、より見やすいものにしていきたいと思う。各所に設置する案内板の大きさは、幅がノートパソコンほどで、高さが腰くらいである。そんなに小さくもなく見やすいものである。ステンレス製で、土台がしっかりしている風水害に耐えられるものになりたいと思っている。

**【君波豊会長】**

駅前に設置する看板は、横1, 800の縦900の中に収めるというイメージでよい  
か。

**【まちづくり大潟】**

そうである。

**【佐藤忠治副会長】**

散策ルートは、ジムリーナも含まれる。少し下がった鵜の浜人魚館の入口に、まちづ  
くり大潟が設置した看板がある。鵜の浜温泉と鵜の浜人魚館もルートに入れてもらっ  
たらいいのではないかと思う。大潟は、石油と天然ガスで栄えた町で、それに付随して温  
泉が出て、温泉街ができた経過があるので検討していただきたい。

**【まちづくり大潟】**

貴重な意見を有難く思う。また、そのような意見があればお聞かせいただきたい。

**【君波豊会長】**

他に質疑がなければ「大潟区散策ルート作成事業」のプレゼンテーションを終了する。

予定していた全事業のプレゼンテーションが終了した。基本審査票は事務局が回収す  
る。ここで10分間の休憩に入る。

～休憩～

**【君波豊会長】**

では、再開する。次に、共通審査を行う。審査の進行は事務局にお願いする。

**【柳澤次長】**

それでは、共通審査を開始する。基本審査の結果、すべての事業において、地域活動  
支援事業の目的に適合すると判定した委員が2分の1以上となった。ついては、「採択方  
針との適合」と「共通審査基準」について記入いただきたい。

～審査表記入～

全事業の審査が終了した。採点結果は、次回地域協議会で報告させていただく。

**【君波豊会長】**

本日の採点結果による事業採択及び補助額決定については、次回の協議会で協議を行  
う。なお、審査の結果、不採択となり補助金の交付が行われない場合や、補助希望額と  
して申請した金額よりも減額して交付決定を行う場合がある。以上で協議事項を終了す



る。

次に、4その他に移る。前回、「地域協議会の自主的審議事項に関する通知票」の内容について、会長、副会長に一任いただいた。6月1日に事務局を通じて提出したので報告する。

**【佐藤忠治副会長】**

地域協議会だよりの原稿を全委員から提出いただきたい。発行は、7月25日号を予定している。

**【君波豊会長】**

他に委員から連絡等はあるか。

**【細井雅明委員】**

地域活動支援事業は、追加募集が必要となると思われるが、スケジュール等は次回に協議するのか。

**【君波豊会長】**

後ほど事務局から説明いただく。他にないか。

(一同無し)

私からお聞きしたい。議会意見交換会で、降水時の危険個所に市内のアンダーパスの中で市役所脇のアンダーパスが対象になったと聞いたが、大湊区内では対象となるアンダーパスはあるか。

**【柳澤次長】**

アンダーパスではないが、懸念される場所として高速下のボックスカルバートで、下が若干下がっている場所がある。しかし、沈下が酷いところは交通量の少ないところである。交通量のある場所で懸念する場所はない。

**【君波豊会長】**

了解した。

**【佐藤忠治副会長】**

さいがた病院へ行く道は大丈夫か。

**【柳澤次長】**

大丈夫である。新堀川へすぐ流れ込むようになっている。

【俵木晴之委員】

雁子浜からゴルフ場へ行くところはどうか。

【柳澤次長】

水がたまるという話は聞かない。

【君波豊会長】

他になければ、先ほど話が出ていた追加募集について事務局から説明願う。

【柳澤次長】

次回の日程と併せて説明する。第3回大潟区地域協議会は6月10日（木）午後6時30分より開催する。次回の協議会では、地域活動支援事業の採択についてと追加募集の実施について協議いただく。追加募集を実施すると決定されれば、スケジュール等を示して協議いただく予定である。

【君波豊会長】

他にあるか。

（一同無し）

【佐藤忠治副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。